

姿を思い出します。もしかしたら、一人で生活をしているお年寄りよりも、孤独を感じていたかもしれない。

周りに沢山家族がいても、お年寄りのペースに合わせてあげられずに、会話が減ってしまう事が沢山あります。高齢者施設では、お世話をする方もされる方も他人です。体調を聞いたたり、世間話をしたり、会話がなくてはいけません。けれど職員も忙しく、一人の人とゆっくりじっくり向き合う時間は少ないように思います。でも、そんな孤独なお年寄りを減らす方法として、会話の出来るロボットに頼るということとはやはり間違っていると感じます。お年寄りが増える一方で、介護をする人が足りない現状は深刻です。老老介護の末、疲れはてて殺人を起すといった悲しいニュースもよく聞きます。介護が少しでも楽になる様に、掃除や食事を作る事を機械化したり、徘徊を知らせるセンサーを導入したり、力仕事を軽減するロボットが開発されることは、素晴らしい事だと思えます。けれど、会話だけは人と人が心を通わせて話すべきだと思います。人と人が話せば、ついつい傷つけてしまうという事もあるでしょう。それならばロボットと会話していた方が良いのではないかと？と思う人もいるかもしれませんが、でも、ロボットと会話をしている、心が動かされる

る事は少ないでしょう。

今、私達が平和に暮らせるのは、大変な時代を生懸命生きて働いてくれた人達がいたからです。それなのに、高齢になり社会のスピードについていけなくなった時、社会から排除され孤独を感じながら生きなければいけない。そんな社会であってはいけないと思います。

外国の貧しい小さな村を特集したドキュメントを見た時、お年寄りは長老として一番偉い存在でした。若い人は困った時、長老に相談に行き解決する。村中のみんなが、お年寄りに敬意を持って接する。そんな映像を見てとても素敵だなと感じました。きっと日本もかつてはそうであった事でしょう。どんなに技術が発達しても、人と同じ心を持つロボットを作る事は不可能です。孤独なお年寄りのためにロボットを開発するような日本ではなく、もっと社会の中心にお年寄りがいて、孤立をしないような日本にならないといけないと思えます。

私は自分に出来ることの第一歩として、お年寄りのお話を沢山聞こうと思います。身近なお年寄りと触れ合ったり、ボランティアに参加したりして、自分から積極的に話を聞ける機会を作っていきたいと思えます。そして、高齢者に対して敬意を忘れないようにしていきたいです。

【毎日更新中です！東中ホームページ】

東中の子どもたちの素敵なニュースをタイムリーにお届けする「東中ホームページ」…平成23年度9月の開設以来、毎日の更新を続けています。学校だより「しののめ」とともに、ぜひ、ご覧ください。カラー写真等もきれいにご覧いただけます。よろしくお願ひします。

HPアドレス <http://www.owariasahi.jp/higashi-j/> (毎日更新中)

※「尾張旭市立東中学校」で検索クリックすると…HPへジャンプします。



尾張旭市立東中学校 学校だより「しののめ」編集部

〒488-0051 愛知県尾張旭市下井町前の上1602番地

教頭：加藤奈保樹 ☎ 0561(54)6511 FAX 0561(52)2905

